

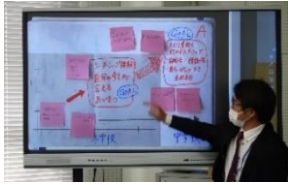
「志を立てて、以て万事の源となす」

企画・運営研修「拓 (TAKU)」⑥

～塾生による、塾生のための研修を実践しよう！～

先見性・大局観

同僚性・行動化



◆テーマ◆
SDGsの目指す
社会の達成に向けた
学校づくり

塾生からの声

- 様々な先生方(同校種や異校種関係なく)と真剣に未来の教育を考え、その実践につながる活動を話し合う時間はとても楽しかった。いつしか班のメンバーがチームになっている実感も持つことができた。一緒に悩みや考えを語り合える時間や場の雰囲気の重要性とそれを形にし、発信する事でさらに新しい知恵や発想が生まれてくることもわかった。
- それぞれの得意分野を活かして作業を進め、わからないことを尋ねあったり、異なる考えでも話し合ったりすることで班の「研修」をつくり上げることができました。この体験こそが、組織で動くことの大切さや強みであると実感しました。

閉講式

修了証授与
日の出小学校
宮村 知恵 先生

塾長致辞
教育センター所長
日高 公德

塾生代表あいさつ
北九州高等学校
福万 浩 先生



福岡教師塾での学びを通して、教育者としての価値観を磨き、新たな教育の可能性を探り、創造できる資質・能力を培われたものと確信しており、今後は、本県の教育の新たな道を切り拓くリーダーとなられることを切に願っております。



「生徒たちから必要とされる教師でありたい。」時代や教育システムが変わっても変わらない、普遍的真理だと思います。変化の激しい時代の中でも、柔軟に、そして粘り強く、教師としてあるべき姿を追い求めていきたいと思っています。



塾生からの声

- 教師塾に参加する前と後では人間としての幅が広がった実感がある。そんな自分自身の気付き(アンテナ)を普段何気ない学校生活の中でも、職員会議等の中でも感じる事が増えてきた。私はこのような発見がたくさんできたことは今後の教員人生においても必ず役に立つと感じている。
- 一つ一つの講話が、毎回私の中に染み込んできて、次の週からやる気に満ち溢れた状態で通勤していたように思います。そのくらい、それぞれの研修から得るものが多くありました。これを、私だけの中に留まらせることなく、1人でも多くの先生方や子供たちに還元していきたいと思っています。

令和4年度福岡教師塾(第8回)
令和4年11月18日(金)実施
福岡県教育センター